

ほのぼの苑だより

題字：菅原 カヨ 様



潟上市よりお祝いしていただきました
ありがとうございました

潟上市風あげ大会

二月十一日、入苑者の方々と大久保小学校の近くで行われた「潟上市風あげ大会」を見学してきました。

会場に着くと駐車場がないため、沢山の車が縦列駐車しており、参加者の方々はその道路横の雪の積もった田んぼの中で風をあげていました。形や大きさも様々で参加者の中には県外から来ている方もいて驚きました。大会本部の方の話によると青空で風もあり、凧あげ日和とのことでしたが、やはり冬の風は冷たく、入苑者の方々もとても寒かったのではないかと思います。来年も入苑者の方と一緒に見に行ければと思いますが、その際はもつとしっかりと寒さと風よけ対策をしなければいけないなと感じました。(長岐 麻衣子 記)



二月誕生会

二月の誕生会では、一足早く三月の雛祭りでも使われるひな人形を入苑者の方とご家族の方と一緒に作りました。ヤクルトの空を繋げて、周りにカラフルな折り紙を着物に見立てて貼り、毛糸で紙を作り、最後にどんな顔にしようかと相談されながら、各々好きな目を描き入れて頂きました。一つ一つ違う表情のひな人形が出来上がり、皆さんで正面玄関に飾られてあるひな壇の前で写真撮影をしました。

その後、シェフ特製のチョコレートケーキをご家族の方にも試食していただき、楽しく和やかな時間を過ごして頂きました。また今月は一〇一歳を迎えられた入苑者の方がおり、その方のお祝いも含めた誕生会となりました。感動の涙を流される入苑者の方もおり、一人一人の思い出に残る誕生会になったのではないかと思います。(鳴海 舞 記)



ほのぼの苑 ちよつとイイ話

「ほのぼの苑 ちよつとイイ話」
は、苑内での感動する話をご紹介します。
するコーナーです。

ちよつとイイ話

～二月の日記・日記より～

二月十二日（火）

デイケアに通苑されるようになって2年ほどになる物静かな方がおられます。半年前に最愛のご主人に先立たれてから元気を失くされ、デイケアも休みがちでした。「主人がもういないんだと思うと悲しくて寂しい。」とよく話されて、笑顔も見られなくなっていました。

しかし、最近では周りの方と笑顔で話されたり、リハビリを積極的に頑張られたりしてやつと明るくなってきたような気がします。さらに、「家でテレビばかり見ているて退屈なので、デイケアで皆と話しが出るのが何よりの楽しみ。」とか、「リハビリを頑張って主人の分まで長生きしなくちゃ。」など、前向きな発言が聞かれるようになってきました。

大きな悲しみを乗り越えてやつと明るい笑顔に戻った通苑者の方に、私たち職員はもつといろいろな楽しい思い出を残してあげたいと思います。



二月十四日（木）

本日は、バレンタインデーということで、昼食のお膳にチョコレートプリンが付いていました。

真つ先に食べる方、大事に取っておいて最後に食べる方、様々で中にはチョコが苦手と残される方もおりましたが、好評で男性の方も女性の方も嬉しそうに昼食を召し上がっていました。

二月十五日（金）

今日はある入苑者の方が新しく補聴器を使っていました。普段は耳が聞こえにくく、補聴器を付けたら良く聞こえて嬉しそうなお様子でした。心なしか、他入苑者との会話も増えてきているようでした。

二月十九日（火）

本日のおやつは「栗きんとん」で入苑者の方々のリクエストで出されました。希望していたおやつが出てきたので、皆さん笑顔で召し上がっておられました。今後もリクエストに応えられるような食事やおやつ提供に心掛けていきたいと思えました。



二月二十四日（日）

二月の誕生会があり、訪ねてきた家族の方と晴れやかで生き生きとした表情で過ごされている方がいらつしやいました。何回目の誕生日であっても、お祝いしてくれるご家族がいるというのは幸せなことだなと思えました。



二月二十五日（月）

週二回デイケアを利用されている方がいます。私の名前を覚えようとはしてくれませんが、いつも「母さん」と呼び、気軽に声を掛けてくれます。

朝のお迎えの時も、ご家族のいる前で、「母さん。今日もよろしく頼むね。」と、言ってくれます。通苑するのがおっくうに思える日もあるようですが、「明日になれば母さんに会える。」と思うと、胸がワクワクするそうです。

【誰かに会えるからデイケアに行く】
その1人が私だなんて、こんなに嬉しいことはありません。これからも毎回いらしてください。

第二十一回 家族会 議事録

第二十一回 家族会は、平成二十年二月一日(金)午前十時三十分より、食堂にて『節分 豆まき』の行事と合同で行われました。ほのぼの苑だよりの誌面にて写真を掲載し、行事の雰囲気をお伝えしたいと思います。三月の家族会は、三月二十三日 午後二時より食堂にて、『秋田南中学校吹奏楽部による演奏会』の行事と合同で行います。当日の様子につきましては、次号のほのぼの苑だよりの誌面に写真を掲載致します。四月の家族会は詳細が決まり次第、当苑玄関と掲示板にてお知らせ致します。お忙しい中とは存じますが、是非ご参加下さいますよう、ご協力よろしくお願い申し上げます。



幸福

子供が産まれると、途端に写真の数が多くなると思います。小さい時の成長を残そうと常にカメラを持ち歩き、色々な場面、場所でシャッターを押していました。それがきっかけだったのでしようか。撮っているうちに自然の魅力の心地良さに幸せを感じるようになったのです。朝日、空、山、海、植物など。何気に当たり前にある光景のようですが、四季と共に日々変化する自然の力に感動を覚えます。毎日の通勤路の風景は、季節の変わり目が分かり易いのではないのでしょうか。私の通勤路となっている農道はそういう意味では大好きです。

数ある写真の中でも気に入っているのは、その大好きな農道から見える寒風山と新山をバックに、天使の梯子と言われる雲の隙間から目映いオレンジ色の光が降り注ぎ、そしてその前ではしゃぐ子供達。思わず写真を大きく引き伸ばした程です。

春の香りが漂うこの頃、毎年この時期を逃すのですが、今一番撮ってみたいのは、雪の被った木々、滝、桜のショットです。今年こそは・・・とカメラを磨いてみました。とは言っても、このデジタルカメラの時代に持っているカメラは十年來の黒く重く鮮明な画質とは遠いカメラです。だからなのでしようか、そんなカメラで滅多にない

上出来な写真が撮れると嬉しさもひとしおです。

出掛けた時に偶然写真展などが行われていると思わず、足を運んで魅入っている作品、全体に隙を見せません。それを見て、感動した後は、いかにこのカメラで味を出そうかと良い刺激になります。

子供の成長と共に一緒に歩んできた愛着のあるカメラなのでこれからも沢山の幸を刻んでいきたいと思えます。

ポツリと一言

三月は別れの季節と言われますが、ほのぼの苑でも人事異動により、数名の職員が他の事業所に移動します。一緒に働いていた職員がほのぼの苑を去ることは寂しいですが、人事交流によつて正和会の活性化にも繋がると思っていますので、これまでの経験を新しい事業所に行つても活かして欲しいと思います。

発行

医療法人 正和会



介護老人保健施設 ほのぼの苑

〒018-1401
秋田県潟上市昭和久保字街道下 92-1
電話 018-877-7115
FAX 018-877-7481

ホームページ
<http://www.seiwakai-akita-nol.or.jp/>

編集責任者 加藤 稔樹

発行責任者 小林 顕